

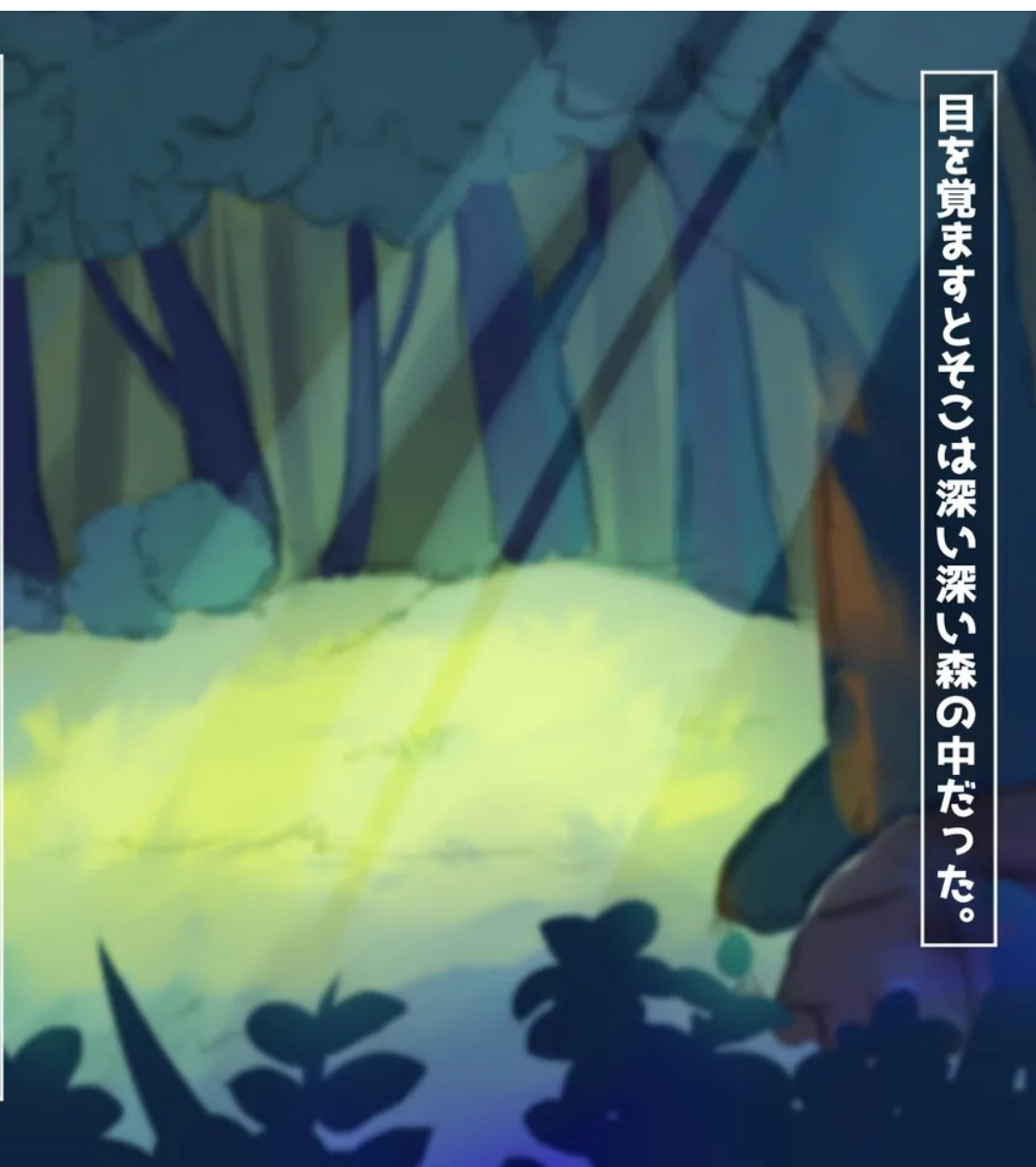
異世界転生したら
メスガキエルフに
バカにされたので
分からせたいW

童貞とか
マジうけるWWW

目を覚ますとそこは深い深い森の中だった。

先ほどまでは確か、会社に行くために、この森とは比べ物にならないくらいの人ゴミの中をかき分けて、朝から気が滅入っていたのだが、とうとうこんな幻覚まで見えてしまうくらいに疲れがたまっていたらしい。

いや、ここまでリアルな幻覚が見えるということとはもはや、疲れを通り越して、無意識のうちに何かやバ気なお薬でもキメてしまったのかもしれない。



そして目の前には見たことない美少女がいた。
少女というのを見た目が少女なだけで、
人を形容するその言葉は少し不適かもしれない。
なぜなら彼女には長い耳と、俺の知っている人間の
女性ではそんな破廉恥な服は着て歩く人など
見たことがないからだ。



というよりこの少女、アニメや漫画でしか
見たことがない、所謂エルフなのではないのだろうか。

あの…寒くないですか？

はあ…

…

あんた童貞でしょ

え……

うわキモ
絶対童貞じゃん
人間でその見た目だと20歳後半ね
かわいいぞーwww

こ、このガキ…



ガキとは失礼ね
私は人間でいう150年は生きてきた
立派な大人エルフなんだから

この間読んだ小説ではエルフの時間は
人間時間の約10倍なんて書いてたな
ということはこのガキは人間でいう15歳か

やっぱりガキじゃないか

はあー？勝手に
決めないでくれる？
150年生きてきたって
言ってるでしょ？

人間でいうところの
15年くらいだろ？

は、はあ？ちがわよ！

これだから童貞は嫌なのよ
人がせっかく助けたやつたつていうのに
お礼の一つもできないのかしら

確かに俺の体には布がかけられていた
いいにおいがする

って！におい嗅ぐなし！キモ！童貞！
どうせ私の完璧なプロポーション見て
獣みたいに興奮したんでしょ？
ほんと童貞ね

そ、そういうお前こそ
しょ…処女なんだろ！？

そこで詰まるとかキモすぎw
あんたなんかこれで十分なのよ



エルフは器用に俺のベルトを外すと
ズボンとパンツをずらし
ちんぽを露出させた

ば、ばか！やめろ！

ほらほらほら
これが気持ちいいんでしょ？
きーも

そういうとエルフは
器用に足を動かし
俺のちんぽを刺激し始めた

お、お前の足なんかには負けるか！

え、こんなん
感じてんの？
うわあ…

んっ♡
んっ♡
んっ♡

面白くなったのか、エルフの足が俺のちんぽにいやらしくはい回る時折足の指を器用に動かしかり首を刺激したかと思うと足の付け根と付け根を合わせ蜜ツボのような状態にし龟头をぱっくりとくわえ込んだ

いーけ♡いーけ♡

ほらっ♡いけ♡……
いけ♡♡

や、やめろ！

グン グン グン



ほんとにイッてるし
まじキモい

くそ……

あんたの童貞私の足に
食べられちゃったねw
うけるww



エルフは面白いおもちゃを見つけた
子供みたいな顔でにやりとし
その豊満に育った胸を両手いっぱい
持ち上げたかと思うと俺のイチモツはエルフの
いやらしい谷間にしゃぶられた

もしかしてこれでも
いくんじやないの？





気持ち良すぎて一瞬頭が白くはじける

?!?!?!?!?!?

ぽん♡

ぽん♡

ぽん♡

ぽん♡

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

==

エルフは上半身を淫らに上下させると
いよいよ何も考えれなくなる。

おちんぽおっぱいに
食べられちゃったね☆

ほら！

いけ！

いけ！

ス・ス・ス……





こ、このメスガキ……!!

はいまたまたあんたの
童貞雑魚ちんぽの負けっW
きやははW
まじキモいW

ぐちゃっ
ぐちゃるるっ

ちよ…

なんでまだそんなにでかいのよ！
二回もあんなに出したのよ！？

こ、こんなので満足するわけないだろ！
童貞の復活力をなめるな！

ふ、ふん
それでどうするつもり？

それは…
こうだ！

エルフのバックをとると
とろとろにとろけたその蜜ツボに
自分のイチモツを挿入した



目の前がホワイトアウトするほどの
強い快楽に挿れた瞬間動けなくなる

っっ!?

ほんとに入れるなんて…
でもやっぱり童貞ね…
そこから一歩も動けてないじゃない

く、くそ!

なら…
私から動いてあげる!



エルフは自らいやらしく腰を前後に
動かし始めた
エルフの腰が自分の腰に当たるたび
ぱちゅんぱちゅんといやらしい
メロディを奏でる
エルフの肉ひだの一つ一つが
奥へ奥へとイチモツを引き込めように
吸い付いてくる

俺は負けない!!!

負けじとエルフの腰の動きに合わせて
自分も腰を動かし始める

ひやう!!!
ちよ!!!
や、やめ!!!





やめよう言われてやめる奴がいるか……

やんっ……
んっ……

はあ……

童貞……

やあ……

ああん……っ

ふ、ふ……



ご、ごめんなさいしろー！
童貞を馬鹿にしてごめんなさいしろー！

いいやー♡
童貞なんか
負けないんだから♡

びしょ

やばいっ！
イイク！

やあつ.....そこはダメ!!

っっー

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

まだまだおわらねーぞー！

う、うそでしょ……

はあ……
はあ……

お前がごめんなさいするまで
やめないからな！

腰の動かし方が分かってきた俺は
エルフの快楽でゆがみきった顔を見ながら
遠慮なく腰を揺らす

ぬいっ、いっ、いっ、いっ、いっ



先ほどの絶頂の余韻が残っている中
新たな快楽を上書きされエルフは
涙目になる





俺がそういうとエルフは
絶頂の快楽をこらえるかのような表情で
無理やり口の端を吊り上げにやりとすると

な、なーんてね……

わ、私があんたごときの腰振りで……
感じるわけないじゃん？





だ、だからもうおしまいよ

腰を軽く振ってやる

ふああん……

ぽんぽん

……

な、なによ……

嘘をついたな！

は、はあ！？
ちよつと！
やめなさいこのばか童貞！

俺はエルフの体を自分の
真正面に持つてくると
いやらしく口を開けている
エルフの穴へゆっくりと
自分のものを差し込んだ





恍惚とした表情はあらがうことをやめ
快楽に身を任せたものの顔をしていた

俺はエルフの甘えた声を
聴くと我慢できなくなり
一気に腰を前後に動かす。

くっ……ああああ♡

はあっ、んっ……
あんっ、はあ
っふああああん♡



エルフの甘い声を聴きながら
そのとろけた表情を見ていると
さらに昂り、彼女の白くて柔らかな
腰に自分の腰をぶつける、
エルフは胸をたぶたぶといやらしく
波打たせ、瞬く間に俺とエルフの
結合部分からじゅぶじゅぶと
いやらしい水音が生まれ始めた。

やあっ、ああん♡

出すぞ！
お前の中に……！

きて♡♡
あつつい童貞ザーメン
中出ししてえー♡♡

うーん……



やっ——
ふあああああああ
あああああああああ——っ♡



はあーはあー……
もう大人を馬鹿に
するんじゃあねーぞ？

ごめんなさい——♡
大人を馬鹿にして
すいませんでしたあ♡

ヒーローグ

そ、その……

さつきは童貞を
馬鹿にして悪かったわね

いいよ、もう。

これから大人を
馬鹿にするんじゃないぞ？

は、はあ？

私は50年生きてんのよ？
あんたの方が年下なんだからね！？

はいはい

はあーこれだから……。

まあいいわ。馬鹿にしたお詫びに、
とりあえず街まで案内してあげるから
ついてきなさい

そういうとエルフは歩き出し
俺はその背中を追いかけた



